中西　顕治

一、避難行動要支援者名簿の利用
二、通学路安全対策

避難行動要支援者名簿

問 要支援者名簿の利用について区長会、民生委員児童委員協議会等に提示されたが、課題の整理はできたのか。

答 名簿は有事の際の安否確認なり避難誘導に使ってくださいと説明した。内閣府の指針でも個人ごとの個別計画を立てて、その人に合った対応をするよう書かれている。

問 区長宛の文書に情報共有と書きながら、「要援護者情報の提供を受ける側の守秘義務を確保する。」とあるが意味するところはなにか。

答 区長、区の役員、消防の班長、班の役員、民生委員、そういう方々を中心として要支援者の支援をお願いしたい。どの範囲まで情報を共有できるか、追って皆さんに周知をしていく。

通学路安全対策

問 バスの事故対応は適切に規定されているか。また既に発生した事故の対応は規定に沿って行われたか。

答 運営会社より「安全対策マニュアル」が提出されており、その手順に基づいて対応が行われた。

問 バス事故発生交差点の見通しが悪かったと聞いている。当該箇所は所有者同意のうえ対処されたようだが、同様の危険性のある個所はないか。

答 見通しが悪い、木が生い茂って、その木を避けるためにセンターラインをはみ出なければならない場所もある。そういった箇所については、池田土木事務所にも連絡をし、木の刈り込みなどもお願いしながら、対策に努めている。

一般質問

福中　満

一、指定管理者制度について
二、ナラ枯れ対策について
三、移住相談窓口の運用について

指定管理者制度について

問 本年4月から、B&G海洋センター・けやき資料館の運営が企業やNPO法人に委託されることになった。その意義は何か。

答 民間のノウハウを生かした質の高いサービスの提供と町行政の経費の節減が期待される。

新たな設備や事業計画については、町と指定管理者との間で協議・調整し、条件が整い次第実施する。

今後の運営については指定管理者制度のメリットが最大限発揮できるよう、また指定管理者により弾力的・効率的な運営が図られるよう協議し、支援していく。

B&G海洋センタープール

ナラ枯れ対策について

問 本町内においてもナラ枯れが全町域に広がっていることから、住民が適切な認識と対応策を講じることができるよう、今後町行政としてどう対応していくか。

答 ナラ枯れのメカニズムや被害増大のメカニズムについては、森林と人間の関わり方が重要な要因であると考えられることから、荒廃しつつある里山を再生する事業を実施することにより、森林病害虫防除効果を期待している。

本年度より、8月11日を「山の日」とし、国民の祝日として施行される機会を通じて、本町でも森林整備事業・ナラ枯れ防止事業等について住民に情報提供していきたい。

移住相談窓口の運用について

問 4月からまちづくり活性課に新たに移住相談窓口が開設された。特に空き家対策も含め、今後の運用方針はどうか。

答 相談に来られた方については、希望物件情報をカードに記載していただき、協定事業者と連携し支援に努めている。

空き家対策・空き家バンク創設については、まちづくり活性課・地域整備課等関係課が連携し、現在空き家の実態調査に取り組んでいる。今後総合的な空き家対策のあり方を検討していきたい。

空き家の情報収集については、町の制度をスムーズに活用していただけるよう、広報等でお知らせしていきたい。